

平成22年度川崎区区民会議フォーラム

日 時 平成23年3月6日（日）午後2時
場 所 川崎区役所7階会議室
午後 2時 開 会

出席者（敬称略）

（1）委員 13人

魚津利興、荒井敬八、島田潤二、石渡勝朗、猪熊俊夫、木島千栄、田辺富夫、朴栄子、
原紀夫、深澤香織、藤岡玲子、星川孝宜、吉野智佐雄

（2）参与 3人

飯塚正良、坂本茂、西讓治

1 開 会

副委員長 これより川崎区区民会議フォーラムを開催します。

委員長 <開会のあいさつ>

[区民会議委員及び参与、事務局の紹介]

2 落語の上演

副委員長 たまには和やかな雰囲気で行いたいという委員の意見がありましたので、喜楽亭笑吉さんの落語を上演します。

[落語の上演：喜楽亭笑吉]

3 川崎区区民会議の歩み

副委員長 「川崎区区民会議の歩み」について事務局から説明します。

事務局 <「川崎市区民会議」及び資料1、資料2に沿って説明>

4 パネルディスカッション・意見交換

副委員長 これよりパネルディスカッション・意見交換を行います。

[コーディネーター及びパネリストの紹介]

コーディネーター これからパネルディスカッションを始めます。

初めに、高齢者部会から取り組みの説明をお願いします。

部会長 <資料3に沿って説明>

佐谷コーディネーター 続いて、子ども部会から取り組みの説明をお願いします。

部会長 <資料4に沿って説明>

佐谷コーディネーター 続いて、環境部会から取り組みの説明をお願いします。

部会長 <資料5に沿って説明>

コーディネーター 次に、パネラーの皆さんから、この1年討議して、この辺が有意義であったとか苦労したという感想を伺いたいと思います。

委員 私は2期目から参加して、環境に関する部会で公共施設の緑化推進活動を一緒に進めました。課題を見つけて発案して、だれにやってもらうかというとき、区民全員ではできないので、市民団体に声をかけて、そこから個人へといつも考えていますが、団体まで声は届いても、地域に住んでいる方々にはなかなか届きません。「区の花」制定は、花の制定をする段階から皆さんの意見を取り入れて、決まった後も区民みんなで取り組める活動ではないかということで、部会としては自信を持って提案したいと思っています。きょうはこういうふうにしたらいいのではないかと意見がいただけるとうれしいと思っています。

部会長 私も2期目から参加しましたが、3期目に入ってようやく形が見えてきたという感じはしています。川崎区のイメージアップとして「区の花」制定という課題が出てきたのは喜ばしいことだと思います。

委員 私は3期目から参加しています。小学生と幼稚園の子を持つ母親で、子ども部会のテーマでもある「元気な子どもが育つまちづくり」を願っています。今後、子どもたちが本当に笑顔で暮らせるように少しでも進めていければいいと感じています。

部会長 私は1期からいます。子どものことで5つもテーマを欲張ってしまい、途中から減らそうと思いましたが、どれも関連しているので、具体的に何ができるかが大きな悩

みでした。自分たちがやるのではなくて、区内でいろいろな取り組みをしているところとどうつなぎ合っていたらいいかが大事であるとの1年でよくわかりました。私たちのやりたいことを投げかけていくことが大事ではないのかと今は感じています。来年度はそちらに向かっていきたいと思っています。

委員 私は1期目の途中から参加しています。1期目は「まちを花で飾る」ということを手がけました。2期目はカラーリングで、だんだんと浸透してきているのが現状です。区民会議から発信しても、受ける人が活動してもらわないと机上の空論になってしまいますので、活動には協力をいただきたいと思います。

部会長 高齢者部会では、委員の皆さんがご意見をたくさん持っていて、いつも限られた時間に終了しない熱い会議となっています。

高齢者部会ではウォーキングマップをつくることとコミュニティバスに取り組みますが、区民アンケートで一番関心が高いのはやはり自転車問題です。ただし、この問題は既に区民会議の場を離れて検討されていますのでご了承ください。

川崎区民は、調査によると、8割近くの方が今後も末長く住み続けたいという結果が出ており、自分のまちを愛している方が多いと感じています。ただ、我がまちでありながら、意外と地域のよさを知らないこともあります。ウォーキングマップの作成によって、よいこと探しを歩きながら、健康を肌を感じながら取り組むことができないかということです。

私は大師地区の出身です。多くの参詣客がお正月に来ますが、高齢者が歩き疲れたときに腰かけるようなベンチとかトイレの整備が行き届いていないという提案もありました。また、定年でリタイアした男性の中には生きがいを見失って元気がなく、引きこもりがちの方も少なくないと聞きます。マップにベンチやトイレを落とし込み、そういう方々がまちに出てきたくなるようなマップをつくりたいと考えています。

コーディネーター 皆さん、いろいろな感想をお持ちだと思いますし、楽しいこともあるし、苦勞していることもあるという状況かと思います。

3部会がいろいろ提案されることについて、参加者の方にこうしたほうがいいのか、自分も協力したいとか、そういうのを伺っていききたいと思います。まず環境部会からいききたいと思います。

〔環境意識向上ポスター、「区の花」制定に興味のある方に挙手していただく〕

区民 「区の花」制定は今どういう段階なのかを教えてください。

部会長 これから区の花制定委員会を立ち上げて、候補を挙げて、審議して決めていきます。

コーディネーター 中原区みたいにいろいろなところでそういう花を植えてもらうとか、種を配ることもやって広く根づかせていくというイメージですか。

部会長 「区の花」のイメージといっても、桃の花とか歴史のある花、由来のあるものもありますが、いろいろな意見をいただきながらこれから決めていく段階です。

区民 花を見て嫌いな人はいませんから、非常にいいアイデアだと思いました。川崎で一番有名なのは長十郎の梨です。そういう川崎の名物である梨の花あたりが個人的にはいいという感じがしました。

部会長 伝桃という発祥の地の花を挙げました。長十郎梨ももちろんですが、一般家庭で植えられるかは難しい感じもします。いろいろ審議しながらこれからです。

委員 中原区は4年前にパンジーを区の花として決めましたが、区の木はまだ決めていません。最初から欲張ってもとということもあって、まず「区の花」にしましたが、論議を進めていくと、区の木もどうしようかという論議も出てくると思います。そのときにはぜひご参画いただければと思います。

コーディネーター 次に子ども部会に行きます。これはぜひ子育て中のお母さんに意見を聞きたいと思います。

区民 今ものすごく子どもが巻き込まれる犯罪がふえているので、人の子でも、どこの子でも、みんなが気にかけてあげられるような環境づくりを進めていただけたらと思います。

部会長 声をかけてくれる、目をかけてくれる大人たちがいるから、親も安心して公園へ行ってきなさいとか声をかけられると思います。今は核家族で暮らしていることが多いので、隣近所の方との出会う場所がありません。老人いこいの家とか、町内会館とか、まちの縁側とか、地域の方々が集っている場所があるので、そこで子育て中のお母さんたちと地域の先輩たちとの出会いがあると、子どもたちを温かく見守ってくれる人たちがふえると思っています。

委員 私は、地域の方に自分の子どもを知ってもらえると、安心して子どもを外に行かせたり、あそこで何かしていたと耳に入れてもらえたりできると思って、近所の人とのつながりができたらいいと思っています。新しく入ってきた人は、町内会、母親クラブや子ども会に入っている人が少ないので、そういう人たちが町内の方たちと知り合うためにはどうしたらいいか、今、子ども部会で話をしています。来年度はつながりができる場所の提供ができていくといいと考えています。

コーディネーター 不登校で学校に行っていない子が400名ぐらいいますが、小学校、中学校含めて全体の何割ぐらいですか。

部会長 こども支援室から聞いた話で、何割かはわかりません。

コーディネーター そういう子どもたちをどういうふうにサポートしていくかも重要なテーマだと思います。

子ども部会としては5つのテーマをどういうふうに進めていきますか。来年度も5つを一緒に進めていきますか、それとも絞っていきますか。

部会長 子どもの健康については、学校と連携をとりながら来年度はすぐ進んでいく話になります。

世代間交流のカラーリングは、3月ぐらいに大きな大会を目標に、高齢者施設とか、障害者施設とか、こども文化センターとか、地域包括センターなどの方たちに呼びかけて、どういうふうにしたら交流していく場所が持てるだろうか、具体的にやっっていこうと思っています。

子育て中の親が出会う場所とか、子どもの居場所とか、思いきり遊べる場所については、どういうことができるか、どういう人たちと一緒にやれるだろうか、いろいろなところに投げかけた中で、やれそうなことを見つけていこうと考えています。夢パークは、地域教育会議とか子ども会議のほうで、具体的にこれを大事にやっていきたいと思っている人たちがいますから、そういう人たちと一緒に何ができるか模索していこうと考えています。

コーディネーター 次に高齢者部会に行きます。

〔ウォーキングマップに興味のある方に挙手していただく〕

区民 老人クラブとして団体行動する場合、安全面を第一に考えなければいけませんし、トイレが使えるところが近くにあるかも考慮しなければなりません、既にあるウォーキングマップには興味があります。

コーディネーター 既にあるウォーキングマップを少し改定するという感じですか。

部会長 このような「ウォーキングガイドブック」が既にあります。ただし、ご存知の方が少ないようです。とてもよくできていると思うのですが、いいものは使われてこそよさが伝わると考えます。グループでまち歩きをする際にも利用していただけるようなものをつくってみたいと思います。

高齢者部会では昨年12月11日に中央地区をまち歩きしてみたところ、歩道と車道の間には微妙な段差があったり、サインも必ずしも親切ではないなと感じました。商店街でははみ出し陳列で歩きにくいところもありました。また、稲毛公園の障害者用トイレは、かぎがかかっていてすぐには利用できません。このような点も踏まえて実際の利用に適したマップづくりを進めていきたいと思います。

〔コミュニティバスに興味のある方に挙手していただく〕

区民 小田・浅田から大師までは絶対行けません。病院も家の近くに必ず行くわけではありません。病院、行政施設を網羅してくれるコミュニティバスを欲しいと思っています。

小田地区は図書館が遠いです。図書館が遠いのは子どもたちにとって寂しいことです。子どもたちが、田島の図書館でも、大師の図書館でも、駅前の図書館でも行けるようなバスも欲しいです。お年寄りにとっては病院が第一ですし、市役所へ来てほしい、区役所へ来てほしい、保健所へ来てほしいと思っても大変です。そういう意味ではコミュニティバスにもものすごく期待していますし、市民活動として立ち上がったらいいと期待しています。

委員 今の意見は全くそのとおりです。交通体系に回遊性がなく、横のつながりが全くないことが原因です。これを解決するためにいろいろな角度から今検討していますが、まずは区民会議でシャトルバスの運行を立ち上げる方法を考えていきたいと思っています。

コーディネーター そろそろ時間が来ました。最後に皆さんに、今後1年どうするかという話でもいいですし、将来に向けてのこともいいので、一言ずつお願いします。

委員 将来に向けては難しいテーマですが、3期は環境部会と高齢者部会と子ども部会と

3つあり、それぞれが大きな課題を抱えています。一見縦割りに見えますが、川崎区民として見たら、どれも欠かせない問題、活動だと思えます。環境部会から見れば、「区の花」の制定ができたなら、町内会とか商店街とか学校とか、あとは行政にも呼びかけて花を育てていこうということになると思えます。そのときに高齢者部会のマップに花のことを載せてもらうとか、子ども部会のほうでは、不登校の子どもたちに花を育てるところから会話ができないかとか、いろいろな関連ができると思えます。横の連携を大切にして、住みやすい、楽しい川崎区ができていけばいいし、そういった区民会議にしていきたいと思っています。

部会長 環境問題は大きな問題で、みんなが取り組まなければいけない現実問題としてあります。区民会議として、自分たちができること、やれること、実行できることを課題として挙げて、これから推進していきたいと思っています。とりあえず環境意識向上ポスターの継続と「区の花」の制定をやりたいと思っています。

委員 子ども部会の委員だけではできないことのほうが多いと思えます。世代間交流だったり、人とのつながりだったり、高齢者部会、環境部会の方、もちろん市民団体の方や区民の皆様とも連携していかなければいけないとこの1年で思っています。今後も区民会議を中心として皆様方に協力していただいて、ことしのテーマである「元気な子どもが育つまちづくり」を進めていきたいと思っています。

委員 皆さんの力をかりてつくり上げていければいいと思っています。小田地区に図書館がないと聞いてびっくりしましたが、同じ川崎区でも自分の暮らしているところのことはわかっても、隣の地域のことはわかりませんし、世代が変わってしまうとわからないことがあると思えます。元気な子どもが育つというのは、元気な大人がいる、温かい大人がいる地域だと思います。私たち委員だけではなくて、皆さんのいろいろな意見をお聞きしながら、大人たちが豊かに暮らしていけるようなことがやっていければいいと思っています。

委員 今まで第1期、第2期でやってきたいろいろなことをある時期で見直して、実際にどのような方向に向かっていくのかを精査する必要もあると考えています。これは第3期目の、あるいは今後に対しての課題ではないかと思えます。

部会長 今後マップづくりに取り組みますが、区民から好評を得て、増刷希望が多数くるようなものを、ぜひとも作成したいと思えます。作成後にみんなで歩こう会みたいなイベントなども実施できたらと思っています。もちろんマップづくりが目的ではなくて、

マップを通じて地域間の交流が深まり、自分たちの住んでいるまちはいいまちだと思えるような郷土愛を育み、その気持ちを子どもたちや孫たちにうまくバトンを渡せるようになってほしい。その先駆けとしてウォーキングマップを作成していきたいと考えています。

委員 一言発言させてください。私は小田の出身ですが、確かに小田には図書館がありません。でも、3つの小学校には立派な図書室があり、2つのこども文化センターには、子どもたちには不自由がないくらいの本はあります。

私は町会長を今やっていますが、5月14日、15日に日枝神社でお祭りがあります。盛大に子どもの山車とか子どもみこしが出て、一番の交流ができると思っています。ぜひ町会を活用していただきたいと思います。

小田公園は整備計画の真っ最中ですが、少しでもいいものをつくっていただきたいと思います。参与の方がたくさんいますので、ぜひ予算をたくさん出していただきたいと思います。

コーディネーター これから1年検討する上で参考になる意見をたくさんいただいたと思いました。

区民会議は3期から4期、5期とありますが、1つには、この流れの中でいろいろな方々が連携してやっていくということ、2つめとしてできるだけみんなが少しずつでも参加できるようなことを区民会議として提案し、それが実現できていったらいいのではないかと思います。それが区民会議の提案する内容としてのよさだと思っています。

川崎区は古くからのまちということもあって、地域にいろいろな資源がありますが、一方ではそれがうまく機能していないところもあると思います。今ある資源をいい形で生かしながら、川崎区がより住みよいまちになっていったらと思います。これからの1年頑張って、3期としていい提案を出していただけたらと思います。

パネルディスカッションをこれで終わります。

副委員長 ここで、参与の方にコメントをいただきたいと思います。

参与 今後の活動にプラスになることがあり、お互いに意見交換することは大事だと思いました。地区ごとにある子ども会の育成会の方たちと子ども部会の方と、今の子どもたちの実態がどうなっているのか意見交換するとういと思います。

「区の花」の制定は何とか成功させたいです。川崎にあるいろいろな企業に協賛してもらい、一等賞、二等賞、三等賞と商品がつくと、応募件数がふえると思います。花の種のときも協賛的なことを考えていいと思います。

コミュニティバスも成功させたいです。どういう運行方法、どういう手段をとったら自分たちでできるのか、行政と最少限度の協力体制ができるのか。ここの議論を深めていくといいと思います。横軸の交通体系は望んでいます。いろいろな方法を考えると利便性が高まってくると思います。

参与 区民会議フォーラムにこれだけ集まったのは初めてではないかと記憶していますが、それだけ区民会議フォーラムが定着しつつあるのではないかと感じ取ったのが最初の印象です。

コミュニティバスは非常にニーズを感じています。この前、小田・浅田の皆さんと話をしたとき、教文、市立病院、大師方面、南部斎苑に行くルートがないので、コミュニティバスを考えてもらえないかと意見をいただきました。ぜひ成功させていたいただきたいと思っています。

カローリング大会はコミュニティの輪を広げる部分では非常にいい手段ではないかと思っています。

「区の花」が制定されると、区民が一体となってめでるものになると思いますので、ぜひ成功させていたいただきたいと思っています。トイレトペーパーとかティッシュに今は花を印刷することが可能なので、そういったアイテムができ上がると、より一層「区の花」の認知度が高まっていくと思います。

今、子ども会の育成会長をやっていますが、入る方が少ないです。子ども会のメンバーをふやしていきたいと思っていますので、どしどし叱咤激励をお願いしたいと思っています。

きょう議論しているような中身は、到達点ではなく、一通過点だと思います。これから先の川崎区の繁栄と一緒に力を入れていきたいと思っていますので、よろしく願いします。

参与 12月26日の区民会議でも発言しましたが、川崎区は一番歴史のある区です。長十郎梨があつて、伝十郎桃があつて、禅寺丸柿があります。これだけ豊かな区は川崎だけです。この3つを川崎の花といってもいいと思います。歴史にちなんだ川崎の花にしていただければ愛されると思います。

夢パークはすばらしいことだと思います。今、小田公園もリニューアルが始まり、富士見生活づくり支援ホームがこの3月で終わり、競輪場もコンパクト化になります。どこか余地が出てくると思いますので、知恵の出し合いです。区長にもお願いしたらいかがでしょうか。

コミュニティバスについて、川崎市は、最初の立ち上げまではある程度協力しますが、その後はそれぞれの地域の主体でやってくださいというのが基本的な考え方です。みんなが乗ってくれば絶対ペイできますし、先進事例を分析して、商店街でもNPO法人

を立ち上げてコミバスをつくったらどうだろうかというアイデアもあるようです。そうしたところとタイアップしていただくと、素晴らしい内容になるような気がします。

区長 <お礼を述べる>

4 閉 会

副委員長 <閉会のあいさつ>

副委員長 以上で川崎区区民会議フォーラムを終了します。

午後 4時12分 閉 会